

全国邪馬台国連絡協議会 第4回全国大会

「箸墓古墳と纏向遺跡を見直す」

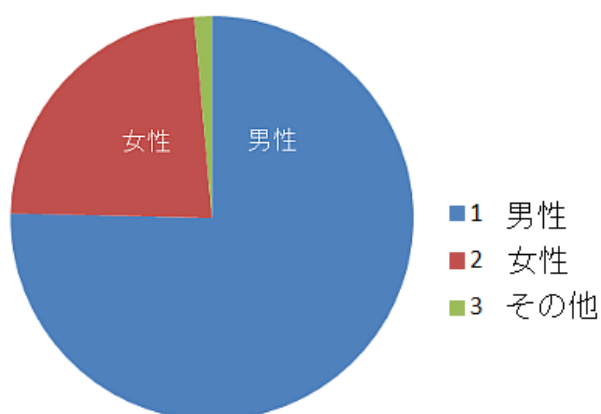
講師:石野博信先生、関川尚功先生

2017/11/19(日) in 東大寺金鐘ホール 定員321名+別室モニター50名

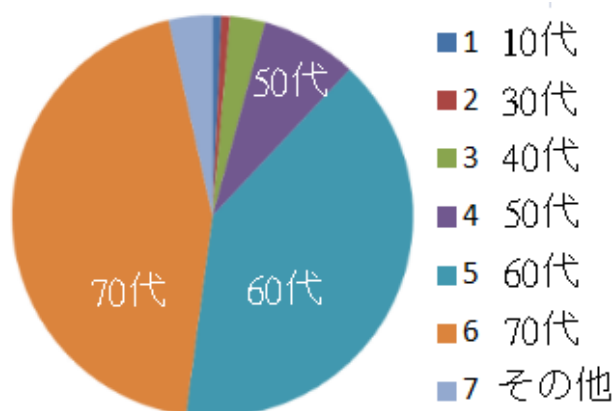
アンケート集計結果

アンケート総計:142名 38.7% (参加者:367名)

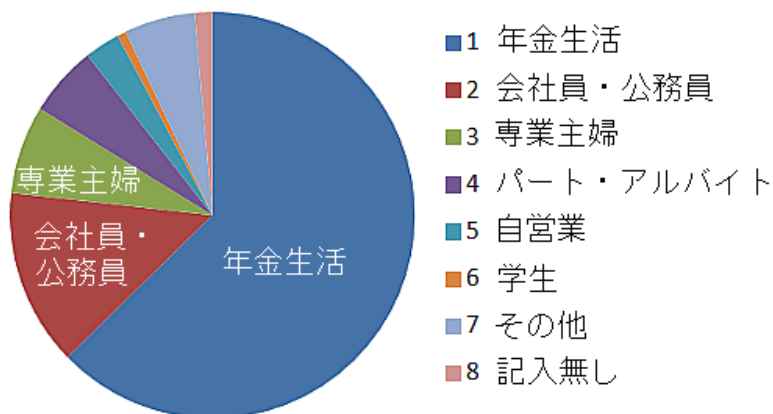
1: 性別 男性:107名 女性:33名 記入なし:2



2: 年齢 10代:1名 30代:1名 40代:4名 50代:11名 60代:57名
70才以上:63名 記入なし:5 10代・女性・学生

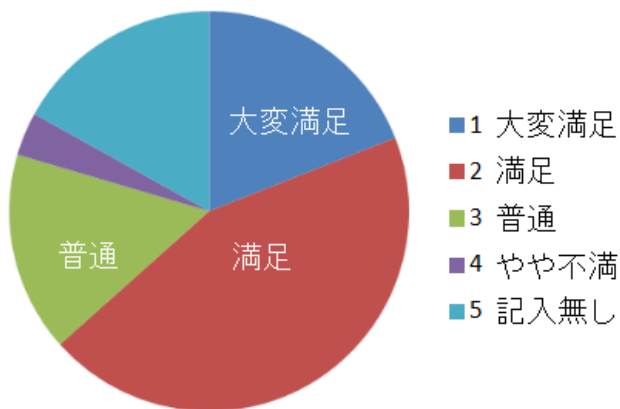


3: 職業 年金生活:89名 会社員・公務員:20名 専業主婦:10名
パート・アルバイト:8名 自営業:4名 学生:1名
その他:8名 記入なし:2



4: 住所 奈良市内:20名 奈良県27名 大阪市内:9名 大阪府:38名
 京都府:16名 兵庫県:10名 滋賀県:4名 東京都3名
 愛知県:3名 福岡県:2名 神奈川県:2名 鳥取県:1名
 その他:7名

5: 講演会について 大変満足:27名 満足:63名 普通:23名
 やや不満:5名 記入なし:24



- ・関川先生は解り易かった:5名
- ・参考になった:4名
- ・パワーポイントで:2名 など

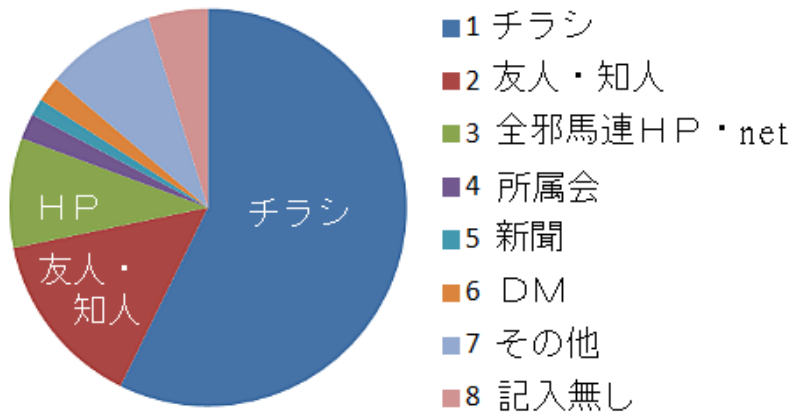
6: 講演会をなにで知りましたか？

チラシ:83名 友人・知人:21名

全邪馬連 HP:12名+インターネット:1名(複数回答)

所属会から:3名 堺歴史を楽しもう会・歴史を楽しもう会の席上など

新聞:2名 DM3名 その他:13名 記入なし:7

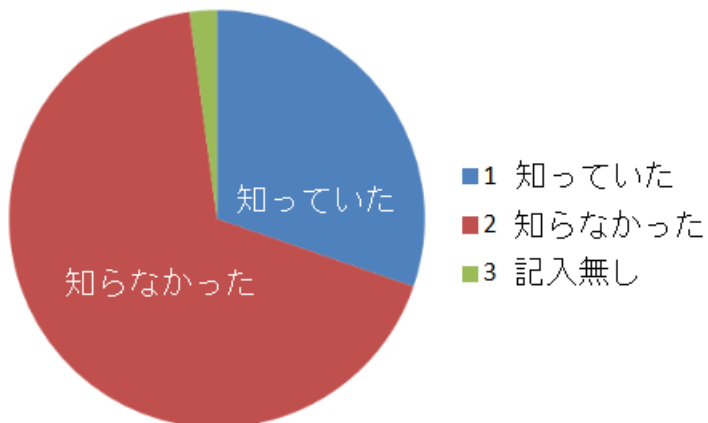


<ちらし入手場所>

奈良県立大学橿原考古学研究所:6
 東大寺ミュージアム:2・東大寺:2・東大寺本坊・東大寺参道
 大阪府立近つ飛鳥博物館:5 狭山池博物館:3 大阪歴史博物館:3
 兵庫県立考古学博物館:3 京都アスニー:2
 東京まほろは館 博物館:2 図書館:2
 奈良駅:2 JR奈良、近鉄奈良 奈良新聞:2
 天理参考館 奈良市埋文センター 万葉文化館 平城宮 弥生ホール
 弥生文化博物館 京都博物館 大津市歴史博物館 泉屋考古館
 今城塚歴史館 古代史館 安土城考古館 宇治文化センター
 銅鐸博物館 豊中市役所 全邪馬連会員

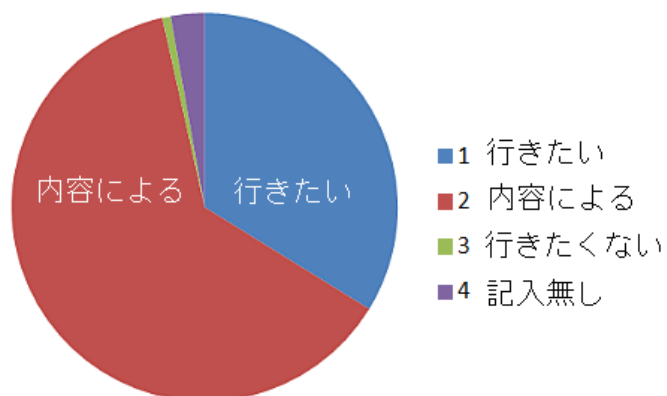
7: 全国邪馬台国連絡協議会をご存じでしたか？

知っていた:43名 知らなかった:96名 記入なし:3



8: 今後当会の講演会に参加したいと思いますか？

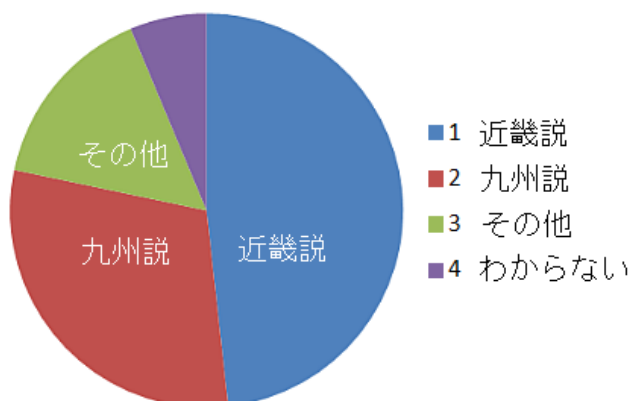
行きたい:48名 内容による:89名 行きたくない:1名 記入なし:4



9: 邪馬台国の所在地はどこだと思いますか？

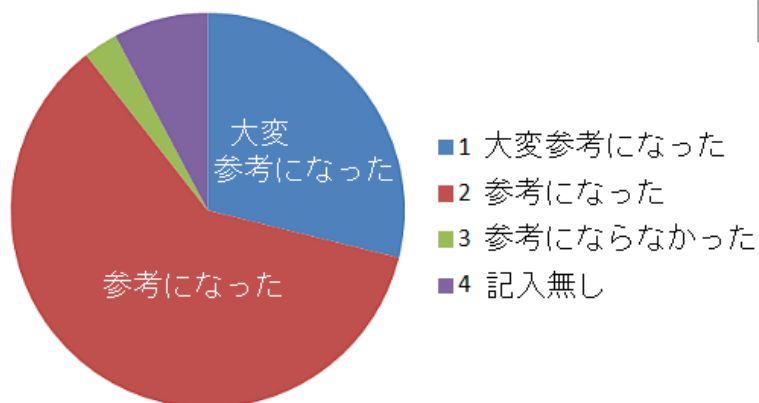
近畿説:69名 九州説:43名 その他:22名 わからない9名

- ・山陰・九州より畿内への遷都・朝鮮半島南部・どちらでもない・決定できず
- ・特定の国の名称ではない等



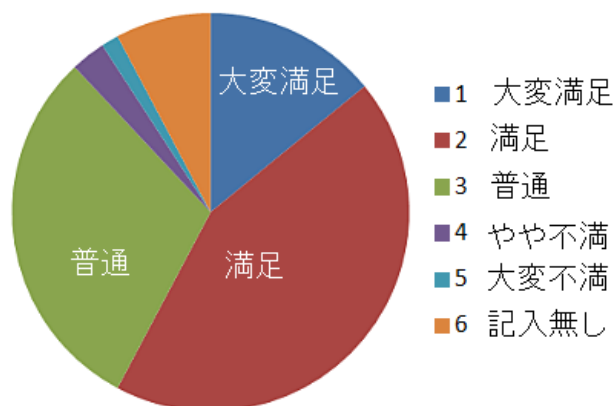
10: 今日の講演は参考になりましたか

大変参考になった:41名 参考になった:86名 参考にならなかった:4名
記入なし:11



11:会場・運営についてお伺いします。

大変満足:20名 満足:62名 ふつう:43名 やや不満:4名
大変不満:2名 記入なし:11



12:宜しければ氏名・住所をお書きください。(使用目的:今後の案内の為のみ)

e-mail:48名 住所:47名 記入なし:65

13:自由回答

- ・邪馬台国の所在地 考古学と文献学 大和王権の成立 などの
講演会テーマについて・パネルディスカッション形式で
- ・受講の可否は事前に欲しい など 詳細は<別資料>

以上

2017年12月15日

全国邪馬台国連絡協議会 近畿東海支部支部長 井上修一
アンケート担当:高橋章、安彦建夫

<別資料> 自由回答(原文のまま)

1. 今回の講演会についていかがでしたか。できれば感想もお聞かせください。

- ・新しい説もお聴きして、もう一度歩き回りたいと思いました。十年以上前の石野先生の資料も再読するつもりです。
- ・関川先生＝古い考古学者の論説は説明より、もっと関川先生の自説を聞きたかった。(箸墓古墳)
- ・関川氏はボソボソ話が多いのは残念。
- ・資料が分かりにくい。パワーポイントとか使用できないのか。
- ・邪馬台国の場所の検証のベースがある程度理解でき、大変参考になりました。
- ・肉声が良い。
- ・先生方のお考えが良くわかりました。今日教えて頂いたことを元に、又、考えてみたいと思います。
- ・関川先生の説明が良かった。
- ・今後のヒントになりました。
- ・関川先生の邪馬台国が巻向であり得ない論拠、大変明解で参考になりました。
- ・随分参考になりました。
- ・むずかしい。
- ・考え方の違う二人の話は、おもしろかった。
- ・2人ともきたんのない話で面白かった。石野先生の記憶力がすごいと思いました。
- ・私には少し専門的過ぎました。
- ・考古は遺跡や出土遺物から詰めていく学問ですので、これが出たら決定的というのが、ある場所から集中して出土しない限り、文献を考古で後付けする事は無理と考えます。それよりも文献は文献学の目で当時の社会情勢を分析して頂き、同様に考古は考古学の目で当時の状況を分析して頂きたいと思います。でなければ、不毛の論争が続き、学問におけるエネルギーをむだに消もうするだけです。最近中世や近世の研究者から、古代史の研究者をべっ視する態度があるのを、古代史の先生方にご存じないのでは無いでしょうか。学問は厳しいものという態度を、せつ度をもって処して頂きたいと思います。右記、細かい字でスママセン。

2. 今回の会場、運営についてはいかがでしたか？

- ・部(屋?)のマイクの声の通りが悪いと思いました。聴講生の方は皆さんお年です。聞こえないのか皆さん(続き無し)
- ・スクリーン室でしたが、話が聞き取りにくかった。

- ・最初マイクの声が割れて聞き取りにくかった(一階)。その為関川先生の発言内容がつかめず残念である。
- ・会場には入れなかったけど、声量など対策して頂き、ありがとうございました。
- ・会場に入れなかったのが残念です。
- ・きれいな会場で、引出式テーブルがあるのが良かった。

3. その他お気づきの点、ご提案、邪馬台国論等ございましたら、ご自由にお書きください。

- ・資料の裏表を無駄なく利用するにも、講師の説明と照らし合わせて、分かるようにして頂けたら有難く思います。(或いは最初に見方の説明があったら有難かったかなと思います。)
- ・受講可・不可は事前に欲しい。
- ・300名を超える入場者、おめでとうございます。また、準備お疲れ様でした。
- ・正にロマンだ。正解が見つからない方が良い！みんなにイメージを持たせる方が意味があるのでは？
- ・今回の内容はいいのですが、会場によりIT機器が構築できないかも分かりませんが、パワーポイントなどを使い、聞くだけの講演会をよりもう少し視聴面での検討もされれば如何でしょうか？
- ・関西での講演会開催を希望します。
- ・纏向に外来土器の比率があるか？渡来(朝鮮半島や中国)の土器が無いのは何故か？九州の土器が無いのは、九州は入れることはするが外には出さないとする。ちょっと？です。
- ・関川先生のお話非常に納得いたしました。やっぱりそうかと思いました。
- ・邪馬台国は大変異論議されているのと思いました。文字の使用が早くから始まっているのには驚きました。
- ・「魏」が認識した”邪馬台国”と、のちに大和朝廷につながる纏向や箸中山古墳などの遺跡が示す勢力は、別のものである場合もあるのではないのでしょうか。「大和王権を中心とした勢力が統一政権をつくる上で、”邪馬台国”とよばれた勢力がどうなったか。」は、古代社会の形成を考える上で、重要なポイントでは。各地の勢力(豪族とよばれ古墳をつくった人々)が、その地で、力を持って、そして古代国家(終着点は律令国家)に組み込まれる、または形成に関する道のり(各地のちがいがいあり)は、まだまだ解明していく余地があるように思います。
- ・関川先生のお話は古き良き九州説と拝聴しました。箸墓を上げすぎ、庄内式の編年を上げすぎなど、少しうなずきました。しかしながら特殊器台型や三角縁鏡編年が大変厳密化した昨今、政治部分に特化した纏向論など、先生の近著にて勉強させていただきます。石野先生はお若い頃の方が過激でいらっしやったと思います。いつまでも自説に柔軟でいらっしやるのは、まだまだお若いからでもありましよう。

- 第5回大会では、畿内説と九州説の論客による対談あるいはパネルディスカッションをお聞きしたい。双方の根拠や相違点など議論を交えて所在地を探る論争を深めて頂きたい。
- ヤマ台国に関する講演2題(九州説・大和説各 1 時間)と、弥生(銅鐸文化を含む)を2題で講演会にして頂きたい。
- 現役の大学教授で討論を！
- 休憩時間をもっと長くしていただけると良かったです。資料を頂いたのは良かったです。パワーポイントなどの映像で見ることができたらもっと良かったと思います。
- 考古学はくわしくないが講演をきくのは楽しみです。九州説・畿内説、どちらかに決まるまで学習します。

以上